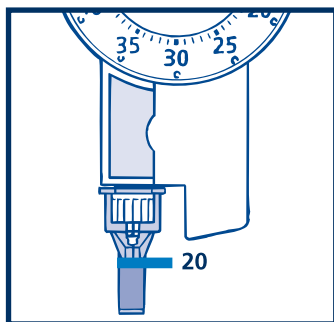


■機能チェック

万一本剤を落としたり、何らかの不具合を感じた場合は、ペンニードルを使って機能チェックを行ってください。

方法

- 1.インスリンカートリッジにひびが入っていないことを確認します。
- 2.新しい注射針をつけます。
- 3.空打ちを行い、インスリンが出ることを確認してください。
- 4.針ケースをまっすぐつけます。
- 5.20単位に設定します。
- 6.針先を下に向け、注入ボタンを押し込みます。
 - インスリンが針ケースの中に入ります。



判定

針ケースの細くなった部分が満たされていれば問題ありません。(上図)。

- 針ケースの細くなった部分よりインスリンが多い場合、または少ない場合は、新しい注射針で再度機能チェックを行ってください。

注意すべきこと

- ◇再度針ケースの細くなった部分よりインスリンが多い、または少ない結果となった場合は、そのインレットは使用せず、主治医に相談してください。

■保管とお手入れ

保管

- 未使用の本剤は冷蔵庫で保管してください。凍らせないようにしてください。
- 使用中の本剤は冷蔵庫に入れないでください。
- 必ずキャップをつけて保管してください。

お手入れ

- 汚れは、中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。
- ほこりやゴミは、やわらかいブラシで吹き払った後、やわらかい布で軽く拭いてください。

注意すべきこと

- ◇ 次のような場所を避けてください。故障の原因となったり、品質に影響を及ぼすことがあります。
 - ほこりやゴミが付着しやすい場所
 - 汚れやすい場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 極端に低温または高温になる場所
- ◇ 外箱及び本体に表示してある使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- ◇ 保管するときは必ず注射針をはずしてください。注射針をはずさずに保管すると、温度変化等により針先から液が漏れたり、インスリンカートリッジ内に気泡ができることがあります。針詰まりや感染の原因となることもあります。
- ◇ 本剤及び注射針等は、お子様の手の届かない場所に保管してください。落としたり衝撃を与えたりすると故障の原因となることがあります。また、万一お子様が薬液や注射針を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ◇ お手入れにアルコール綿を使用しないでください。
- ◇ 直接水で洗わないでください。本剤には防水処理が施されていないので、故障の原因となることがあります。万一水等がかかった場合は、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。
- ◇ 本剤に油をさしたりしないでください。故障の原因となることがあります。

低血糖について(糖質食品を携帯しましょう)

インスリンを注射して、効果があらわれる頃に、「冷や汗」「手のふるえ」「動悸」などの症状が重なっておこる場合は、低血糖の可能性がります。「冷や汗」「手のふるえ」「動悸」などがおこる前に、「ふらつく」「いらいらする」「めまいがする」「おなかがすく」「ボーッとする」などの症状がおこることがあります。この初期症状は人によって異なりますが、自分に特有な症状をよく知っておくことが大切です。

低血糖をおこしたら、速やかにブドウ糖や、ペットシュガー(10~20g)などの補食を摂ってください。詳しいことは主治医の指示をよく聞き、いざという事態に備えてください。



ノボケア相談室 (フリーダイヤル) **0120-180363**


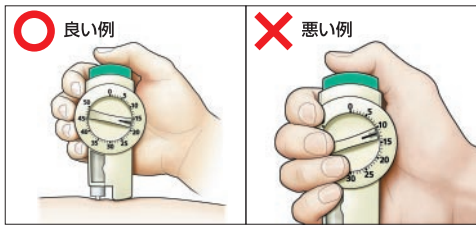
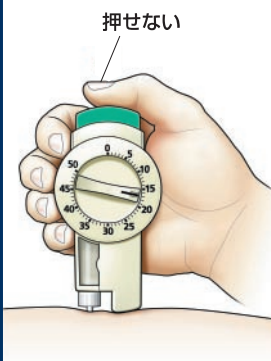
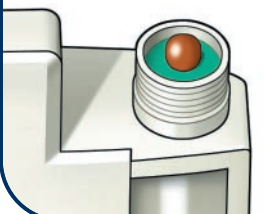
ノボ ノルディスク ファーマ製品について、わからないことや困ったことがある場合は、上記にご連絡ください。

受付：月曜日から金曜日まで
午前9時～午後6時
(祝祭日、会社休日を除く)

左記以外の時間は下記の電話で受け付けます。
夜間・休日受付センター 0120-359516
(但し、原則として回答は翌営業日となります。)

NovoCare®

故障かなと思ったら

現象	原因	対処
注射針がつけられない。	注射針又は本剤イノレット®に原因があることが考えられます。右の①、②の順で対処してください。	①注射針を交換してください。 ②複数回注射針を交換してもつかない場合は、イノレット®を交換してください。
主治医から指示された単位に設定できない。単位合わせダイヤルが回らない。	本剤イノレット®はインスリンカートリッジ内の残量以上の単位を設定できません。右の①、②のいずれかで対処してください。	①本剤を新しいものに交換し、空打ちした後、主治医に指示された単位を注射してください。 ②残量分を注射した後、新しいものに交換し、空打ちした後、不足分を注射してください。
空打ちのとき、インスリンが出ない。(注入ボタンは完全に押し込める。)	インスリンカートリッジの中に気泡が入っています。	気泡が抜け、インスリンが出るまで空打ちを続けてください。  (ごく小さな気泡は完全に打ち出すことはできませんがこれは異常ではありません。)
空打ちのとき、インスリンが出ず、注入ボタンが押しにくい。(押しえない。)	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	新しい注射針に交換してください。 (注射針は「①注射針の取り付け」の説明どおり正しく取りつけてください。また、使用前に針を曲げたり傷つけないでください。)
注射のとき、注入ボタンが押しにくい。(押しえない。)	単位合わせダイヤルに指が触れています。	指で単位合わせダイヤルを押さえないように握ってください。 
	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	<ul style="list-style-type: none"> ●単位合わせダイヤルが全く動いていない場合(設定した単位のままの場合)は、単位合わせダイヤルを「0」に戻して新しい注射針に交換し、空打ちをした後、注射してください。 ●単位合わせダイヤルが少しでも動いている場合(設定した単位から戻っている場合)は、設定した単位の一部のインスリンが注射されてしまったおそれがあります。血糖値や自覚症状の変化にご注意いただくとともに主治医に相談してください。(注射針は「①注射針の取り付け」の説明どおり正しく取り付け、注射の前に空打ちを行って針先からインスリンが出ることを確認してください。)
インスリンカートリッジのゴム栓が膨らんでいる。 	注射針が正しく装着できていないときに、単位を設定して注入ボタンを押したことが原因です。 注射針をつけずに、単位を設定して注入ボタンを押したことが原因です。	ゴム栓が過剰に膨らんでいると、注射針を正しく取り付けられなかったり、取りつけた場合にゴム栓が裂けることがありますので、新しいものに交換してください。 注射後、ゴム栓が膨らんだことに気がついた場合は、設定した単位のインスリンが注射できていないおそれがあります。血糖値や自覚症状の変化にご注意いただくとともに主治医に相談してください。 (注射針は「①注射針の取り付け」の説明どおり正しく取り付け、注射の前に空打ちを行って針先からインスリンが出ることを確認してください。)

※これらの対処を行っても問題が解決しない場合は、本剤を新しいものに交換し、空打ちを行ってから、注射してください。それでも問題がある場合は、医療従事者にご相談ください。